

輸 送 動 向 に つ い て (平 成 2 0 年 度 第 1 - 四 半 期)

平成20年7月

1. 輸送概況

第1-四半期は、4月に東北地方を中心とした強風による輸送障害が発生したほか、6月には最大震度6強を記録した岩手・宮城内陸地震が発生し、高速貨118本、専貨8本が運休した。

荷動きは、ゴールデンウィーク期前後に需要の盛り上がりがあったものの、輸送障害の影響を受けたほか、原材料価格及び燃料費の高騰を背景とした需要の減退も一部に見られ、やや低調に推移した。

品目別にみると、コンテナ貨物は、農産品・青果物、食料工業品、積合せ貨物などが前年を下回ったものの、自動車部品、紙・パルプなどが前年を上回り、全体では前年比100.5%となった。農産品・青果物は備蓄米積み増しに伴う販売抑制により、政府米が大きく減送となった。また、食料工業品は清涼飲料水を中心に、委託生産の縮小及び低温傾向の影響を受け、減送となった。一方、紙・パルプは一部工場の生産設備増強により、増送となった。

車扱貨物は、石油、セメント・石灰石など、すべての品目が前年を下回り、全体では前年比91.6%となった。石油は4月の暫定税率の廃止及び復活の影響で、一時的に需要が大きく変動したが、期全体としては、原油価格高騰による消費の減少により、減送となった。また、コンテナ化を進めた化学薬品などが大きく減送となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別	1 - 四 半 期 計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	5,727	5,696	100.5%
車 扱	2,581	2,818	91.6%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増 減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	448	481	-33	93.1%
	化学工業品	554	557	-3	99.5%
	化学薬品	414	411	3	100.7%
	食料工業品	863	872	-9	99.0%
	紙・パルプ	964	952	12	101.3%
	他工業品	451	418	33	107.9%
	積合せ貨物	620	627	-7	98.9%
	自動車部品	218	183	35	119.1%
	家電・情報機器	102	99	3	103.0%
	エコ関連物資	93	89	4	104.5%
	その他	1,000	1,008	-8	99.2%
	コンテナ計	5,727	5,696	31	100.5%
車 扱	石油	1,703	1,764	-61	96.5%
	セメント・石灰石	324	332	-8	97.6%
	車 両	265	314	-49	84.5%
	その他	289	408	-119	70.7%
	車 扱 計	2,581	2,818	-237	91.6%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)